

療養病棟のご紹介



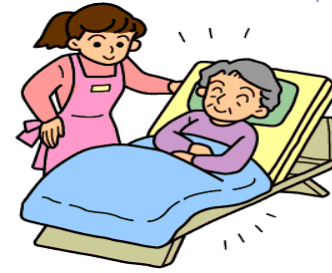
ベッド数

- ▶ 1 人部屋 6 部屋
- ▶ 2 人部屋 1 部屋
- ▶ 4 人部屋 8 部屋



計 40 床の病棟です

療養病棟の特徴



一般病棟での急性期治療を終えられた患者様が、引き続き慢性期の治療や療養上必要なケアを受けながら、退院後の生活環境を整えるために過ごされる病棟です。

また、療養生活を送る中で、人生最後の大変な時間を過ごす方もおられます。

浴室は2種類あり、
患者様の状態に合った入浴介助を行っています

寝たまま入れるミスト浴



座って入れるカトレア浴



療養病棟には高齢の方の入院が多いため、
床ずれ予防にも力を入れています

病棟で使用している褥創予防の高機能マットあれこれ・・・



現在病院には高機能マットを含む
ベッドマットが計7種類あります。
患者様の状態に合わせて、一人一人に
適したマットを選択して使用しています。

褥創予防や皮膚保護のために
保湿ケアやスキンケアにも力を入れて
取り組んでいます。

保湿ケア用品のあれこれ・・・

最近では保湿ケア用品も種類が多くあり、選ぶのも楽しいですよ♪



患者様の状態に合わせた形態のお食事を提供しています

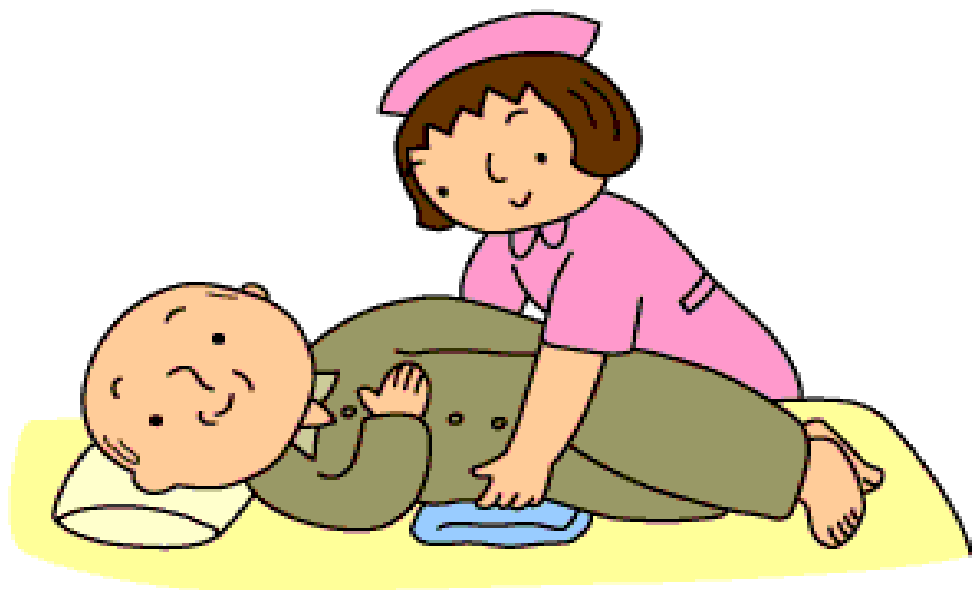


私達病棟スタッフは・・・

患者様がその人らしく療養生活を送られること、
患者様・ご家族様の
「こうしたい」「こうありたい」を
1つでも多く実現出来ることを目標に、
日々患者様のお世話をさせて頂いています。



『一時的に外出をさせてあげたい。』
『家に帰らせてあげたい。』といった希望について
も、ご希望に沿えるよう調整を行い、必要があれば
ご家族様へ指導を行っております。



例えば「寝たきりだけど、家族を自宅に退院
させたい！」という希望があれば・・・

体位交換の指導



栄養の指導



このように

本人と家族様の想いに寄り添い、多職種と
連携をしながら、退院後の生活に向けて必
要な環境調整や退院指導を行っています！

指導の際にお渡しした資料より

身体の向き変えの介助方法について

《準備するもの》

- 座布団（右足用：1枚）
※座布団は2つ折りにして使いましょう
- ビニール袋：1枚（背中への圧抜き用）



《体位交換の方法》

●左を向いてもらう時：

- 「背中（肩甲骨の上あたり）」と「おしり」を支えるようにしましょう！
身体の広い面積の部分を支えてあげることで、より少ない力で横に向いてもらうことができます。
- 足の間に座布団などの厚みのあるクッション（座布団）を入れましょう！
動いたときに骨折した足（右足）への負荷と痛みを軽減することができます。

▼左向きへの介助をしたとき



背中とおしりで支える！

拡大すると・・・

●右を向いてもらう時：

- 足の間にクッション（座布団）は、いりません。
- 左足を曲げてもらうと、楽に横に向いてもらうことができます。
- 本人にベッドの柵を持ってもらうと、横向きの姿勢が安定しやすくなります。

▼右向きへの介助をしたとき



《眠るときの体位》

- 両足、もしくは骨折している足の下に折りたたんだ座布団をおきましょう！
- 自動体位交換機能のあるベッドのため、定期的に体位交換を行う必要はありません。

●夜間の圧抜きの方法：

- 夜間は息子が起きられたときに、1回しましょう！
- * 「どちらか一方に横向きになってもらう」
 - * ビニール袋を手で被せ、本人とベッドの間に「肩→背中→お尻→足」の順で滑り込ませる

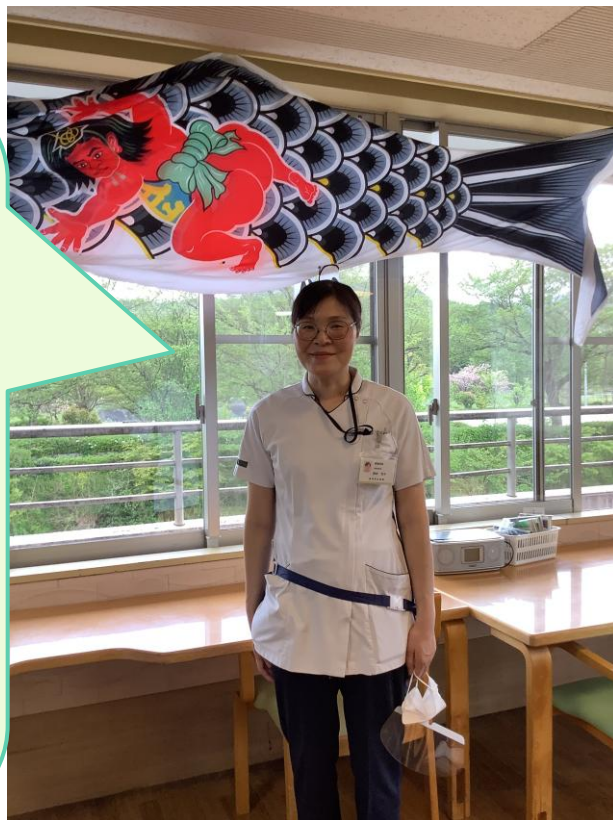


現在、療養病棟では9名の透析患者様が入院中です。
病棟から透析室への送迎は、入院患者様が安全かつ
円滑に透析治療を受けられるようにするための重要な
業務です。
療養病棟スタッフが、患者様の身体状態に合わせて
車椅子やストレッチャーを使用して移動を介助します。



今年度より、 新メンバーが来てくれました！パートⅠ

4月から療養病棟へ
異動してきました！
病気や治療を抱えて
生きる患者さんの
生活を支えることが
できるよう、日々
看護師として
研鑽してまいります。
宜しくお願いしま
す！



3階病棟から異動して
きました。まだ慣れな
いことも多いですが、
入院中の患者さんが
安全で安心して療養
できるようお手伝い
できたらと思っています。
どうぞよろしくおねが
いします



今年度より、
新メンバーが来てくれました！パートⅡ



**療養病棟に2月に
配属になりました。
小原です。
まだ慣れないです
けど、宜しくお願い
します。**

療養病棟からの眺めはとても良いです。
食堂からは毎年、
満開の桜を眺めることができます。



今後も患者様が快適な療養生活を過ごしていただける
よう、心を込めて援助・ケアを行ってまいります！



療養病棟スタッフ一同